

兵庫県但馬水産技術センターだより

貝毒情報(イワガキ) TKD-03-02 号

令和3年6月9日発行

プランクトン及び貝毒検査を6月7日～9日に実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】

- ・貝毒検査(6/9)の結果、今回検査した地点では麻痺性貝毒は検出されませんでした。
- ・貝毒の原因となるプランクトンの出現も見られませんでした。

【検査結果】

年月日(採水・採取)		R3.6.7	R3.6.7
地点(St.)		香住	浜坂
貝類の毒化状況	麻痺性貝毒[MU/g]	ND	ND
麻痺性貝毒原因プランクトン	アレキサンドリウム カテネラ (旧称) <i>Alexandrium catenella</i> (新称 At complex(旧)A. <i>catenella</i>)(細胞/mL)	0	0
下痢性貝毒原因プランクトン	ディノフィシス フォルティ <i>Dinophysis fortii</i> (細胞/mL)	0	0
	ディノフィシス アクミナータ <i>Dinophysis acuminata</i> (細胞/mL)	0	0

※NDとは検出限界(2.0MU/g)未満のことです。



<規制の基準>

可食部の毒量が、
麻痺性貝毒:4 MU/g
下痢性貝毒:0.16mg オカダ酸当量/kg } を超えた場合

<注意が必要なプランクトン密度>

- ・麻痺性貝毒原因プランクトン(代表的な種)
アレキサンドリウム タマレンセ
(旧称) *Alexandrium tamarense* 5細胞/mL以上
アレキサンドリウム カテネラ
(旧称) *Alexandrium catenella* 50細胞/mL以上
- ・下痢性貝毒原因プランクトン(代表的な種)
ディノフィシス フォルティ
Dinophysis fortii 50細胞/mL以上

※プランクトン密度の単位は細胞/mLと表記。(海水1mLあたりのプランクトン細胞数)(mL:ミリリットル、1mLは1Lの千分の一)

※2020年4月以降の貝毒原因プランクトン*Alexandrium*属種の名称(呼称)について、(国研)水産研究・教育機構瀬戸内海区水産研究所(現 水産技術研究所(廿日市拠点))が提案した呼称に従った表記に変更しています。詳しくは水産機構の関係資料ウェブサイト(<http://feis.fra.affrc.go.jp/plankton/douteiirai/alexandriumindex.html>)をご参照ください。

その他、貝毒については関係資料ウェブサイト(<https://www.hyogo-suigi.jp/wp-content/uploads/2020/11/kaidoku.pdf>)をご参照ください。

【今後の情報予定】

・7月上旬に調査を予定しています。調査結果がまとまり次第、「貝毒情報」としてお知らせします。

§お問い合わせ先§

兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター(担当:鈴木 Tel:0796-36-0395)

兵庫県但馬県民局但馬水産事務所(担当:水産課・笹江 Tel:0796-36-1153)

ホームページ: <https://www.hyogo-suigi.jp/tajima/>